

問 これからの駅前整備構想は

答 賑わいあふれる空間に



三浦 義光 議員 無会派

○高山本線高山駅を委員会視察し、今後の市内駅前整備構想について以下を問う。

問 JR・名鉄弥富駅自由通路および橋上駅舎化の事業スケジュールは。

答 (市長) 今年度は自由通路等の詳細設計、北口駅前広場の用地買収、排水路の付替え工事の実施。

来年度6月頃から自由通路の工事に着手。

問 高山駅自由通路及び橋上駅舎化事業と、JR・名鉄弥富駅事業との整備比較は。

答 (都市整備課長) 弥富駅の場合は鉄道事業者が2者であること。名鉄は線路の移設、ホーム及び駅舎を新設。なお整備内容に違いがある。



▲市ホームページ完成イメージ図(予定)より

問 JR・名鉄弥富駅、北側駅前広場整備の全体イメージは。

答 ローター南面にバス1台の乗降バス。広場の西側に駐輪場を整備。

問 中央駅前広場の今後は。

答 具体的な施設配置計画は決まっていない。

問 弥富駅周辺地区整備の優先順位は。

答 自由通路及び橋上駅舎化事業並びに北口駅前広場、駐輪場の整備、続いて中央駅前広場、都市計画道路弥富名古屋線の整備を中心とした近鉄とJRの間の整備、その後駅東西の踏切の拡幅。

問 市長総括を。

答 (市長) 人が集い交流する賑わいあふれる空間を形成していく。

問	資材高騰による農業経営は
答	新たな支援策を模索し対応

○物価高騰による現在の農業経営について以下を問う。

問 年々下落する米価に対して市の経営支援は。

答 (産業振興課長) 昨年度よりカメムシ共同防除費用に対する補助制度を設けた。また、転作に対する補助を継続的に行っている。

問 農地中間管理機構からの賃借料は、二地区ごとに、ここ5年間の推移を聞く。

答 10アール当たりの賃借料金は、平成30年から減少しつつあり、鍋田地区は令和4年が8千5百円。十四山地区は7千円。市江・弥富地区は5年間すべて7千円。

問 肥料高騰対策支援金に對して、市独自の追加支援は。

答 考えていない。

問 肥料以外の、農業用資材高騰対策として支援は。

答 近隣の支援状況の動向を注視。

問 市長総括を。

答 (市長) 現在の支援策を継続するとともに、新たな支援策を模索し対応していく。



▲高騰する輸入園芸肥料